

2022年度第 10 回法学研究科委員会議事録

日時：2023年3月1日(水) 10時40分～11時5分

会場：原則対面で実施 板橋校舎内の会場として板橋校舎 1号館 102 教室

《出席者》10名(定足数充足)

《オンラインによる出席者》15名

《議長》坂部真理研究科委員長

《幹事》法学部事務室

I. 冒頭

坂部委員長が議長となり、大学院教員及び研究科委員会規程第6条第1項に定める定足数に達した為(参加者 25 名)10時40分に開会が宣言された。

続いて、2022 年度第 9 回法学研究科委員会議事録の確認が行われ、委員会は原案を承認した。

II. 議案の審議

1. 2022 年度法学研究科修士論文審査報告および修了判定について

議長の指名により、対象院生 2 名の主査から修士論文審査報告書に沿って、2022 年度法学研究科修士論文の審査結果について報告がなされた。

この審査結果を踏まえ、対象院生 2 名の課程修了判定を合格とし、修士の学位を授与することについて、委員会は承認した。

2. 学籍異動について

議長の指名により、対象院生の指導教員から資料に基づき、学籍異動について説明があり、委員会は原案を承認した。

3. 2023年度法学研究科委員会日程(案)について

議長より、資料に基づき2023年度法学研究科委員会日程(案)について説明がなされ、委員会は原案を承認した。

4. 2022年度学位記授与式に係る総代等の選出について

議長の指名により、法律学専攻主任より資料に基づき、2022 年度学位記授与式に係る総代等の選出について説明があり、委員会はこれを承認した。

5. 2023年度各種委員会委員の選出について

議長の指名により、両専攻主任から資料に基づき2023年度各種委員会委員の選出について説明がなされ、委員会は原案を承認した。

6. 2022年度点検・評価シート(経過報告)について

議長の指名により、両専攻主任から資料に基づき2022年度点検・評価シート(経過報告)について説明がなされ、委員会は原案を承認した。

7. 入試改革について

議長の指名により、両専攻主任より意見がなされ、修正箇所を含め、委員会は原案を承認した。加えて、議長より、提出時に発生した微調整は執行部一任として扱う旨の提案がなされ、委員会はこれを承認した。

8. 大東文化大学学長室規程の改正(案)について

議長より、資料に基づき大東文化大学学長室規程の改正(案)について説明がなされ、委員会は原案を承認した。

9. 2023年度大学院入学試験(研究生)の対応について

議長より、2023年度大学院入学試験(研究生)の出願が無かった旨、報告がなされた。

10. その他

・特になし

Ⅲ. 報告承認事項

1. 大東文化大学奨学基金規程並びに大東文化大学学費等減免措置に関する内規実施要領の改正(案)について

議長より、大東文化大学奨学基金規程並びに大東文化大学学費等減免措置に関する内規実施要領の改正(案)について説明がなされ、委員会は原案を承認した。

2. その他

・特になし

Ⅳ. 報告事項

1. 2023年度シラバスの第三者チェックについて

議長の指名により両専攻主任から、2023年度シラバスの第三者チェックについては両専攻ともに完了した旨の報告がなされた。

2. その他

- ・新入生の対面式について

2023年4月4日(火)ガイダンス終了後 対面で実施する旨、報告がなされた。

<閉会>

以上の審議をもって議長が閉会を宣し、法学研究科委員会は、11時5分閉会した。